



ESDom

藤木小 環境教育担当

大仙市大曲南地区環境教育通信

藤木小版

E:Education for

S:Sustainable

D:Development

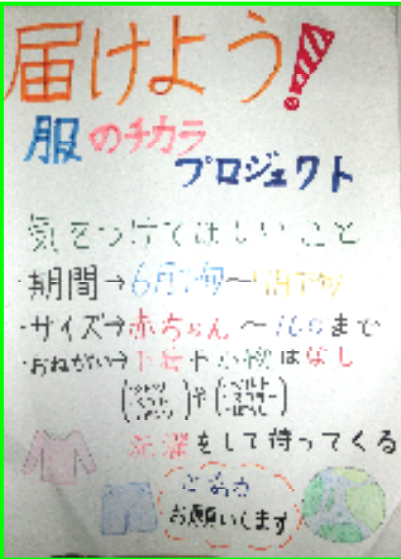
o:omagari m:minami

H.29.8.24 No.5



8月上旬、「**夢があふれる どれいむ米**」は出穂の時期を迎えています。大雨にも負けず、太陽の光をいっぱい浴びて、たくさんの可憐な花を咲かせています。(→8/7撮影)

「届けよう 服のチカラ」プロジェクト (3年目)



6月27日(火)にユニクロから2人の先生方をお迎えして、3～6年に“服のチカラ”授業をしていただきました。

服にはどのような力があるのか、世界の難民の様子や回収した服がどのように役立つのかなどを、みんなで学びました。

この授業の後、今年度も高学年が中心になって、着られなくなった服(子ども用)を地域の皆さんに呼びかけて回収運動(6月下旬～11月下旬)をスタートさせました。今回で3回目となります。ご協力をよろしくお願いいたします。



【児童の感想】

- わたしは、なんみんなの人たちが、せんそうで生まれた所をはなれるのはいやだと思います。服も新しい服にかえたいと思います。だから、わたしも服をなんみんなの人にとどけて、元気になってもらいたいです。(3年生)
- 私は、服のチカラの授業で、難民の数が6500万人もいて年々増加していると聞いて、難民をへらすことはできないのかと思いました。お店に服がならぶまで、たくさんの苦労があるということや、難民の人たちが、持ち物はいろいろ持っているけれども、重い物などはすてていかなければならないと教えていただいて、難民の人もとてたたいへんだと思ったので、服のチカラプロジェクトに参加して、困っている難民を助けたいと思いました。(6年生)

「ESDの視点(コミュニケーションを行う力他)に立った授業」

研究会① ～算数科の授業 1年「ひき算」・5年「小数のわり算」～

6月20日(火)に指導主事の先生をお迎えして、算数科の授業研究会が行われました。

1年生は5人の少ない人数ながら、自分の考えや友達の意見に対する疑問や付け足しのことなどを、ひとりが何回も積極的に発表しました。入学してわずか2か月半という短い期間での授業でしたが、聞く・考える・話すという学習のルールがしっかりできていました。

5年生は、課題を解決するために自分なりの方法を考えて発表し、それらに対する意見交換をしながら、みんなで解決方法をまとめることができました。自分と友達の考えを比べながら発表し合い、主体的に学習する姿に頼もしさが感じられました。



<体験的な活動>

1・2年 校外学習(モリボの里, ラベンダー園) 6/16

5年生 保呂羽山自然体験教室 6/21・22

